

Vol.186



かけはし

理念
すべては患者様と
地域社会のために



病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

発行責任者 病院長 佐々木 順子

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。平成から新しい時代への改元の年を、私達は希望と決意を持って迎えたいと思います。

格差社会と言われるながらも、私達には衣食住が保証され、医療についても世界に比類ない恵まれた環境で生活しています。しかし、この状況は様々な要素で危機にさらされています。自然災害、国際紛争や少子高齢化社会の到来など、突然「今」が変わってしまうことを意識しておく必要があります。そのうえで、日頃より変化に対応できる能力を身につけるべく学習し、この社会を、そしてこの病院を守り抜き、次の世代へ自信を持ってバトンタッチをしていきたいと思ひます。新しい年が、皆様にとって幸せな年になるよう祈念いたします。



病院長 佐々木 順子

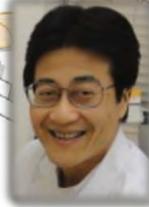
年男年女の病院職員の方々から抱負をいただきました！

新年あけましておめでとうございます。私は今年で3年目になります。日々患者様との関わりの中で自分自身成長させていただいています。今年も笑顔を忘れず一生懸命頑張ります。



2 看護科
A病棟 看護師
競 麻巳子

健康診断センター
センター長
初山 卓哉



明けましておめでとうございます。高齢化社会では健康寿命をのばすことが大切です。今後も微力ながら、皆様の健康増進に貢献すべく「猪突猛進」して参ります。

新年あけましておめでとうございます。今年で看護師4年目になるうとしていますが、普段から初心を忘れず、広い視野を持ち患者様一人ひとりと真摯に向き合うことができる看護師になれるよう日々精進していきます。



2 看護科
A病棟 看護師
津川 紗恵

猪年の年男年女

看護科
4 D病棟 看護師
田中 優衣



新年明けましておめでとうございます。私は今年で入職して3年目になります。まだまだ未熟な点もたくさんありますが、日々患者様としっかり向き合い、成長していけるよう頑張っていきたいと思ひます。

健康管理グループ
主任
勝野 博康



新年あけましておめでとうございます。目まぐるしく変化する社会環境において、常に先を見据えて頑張ります。

中央検査科
金田 恵実



新年あけましておめでとうございます。仕事もプライベートも充実した1年に今年もなればと思ひます。まだ、社会人2年目ということで皆様に支えられていることに感謝しながら過ごしていきます。



事務部長から新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当院へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

超高齢化社会が目前に迫り、医療機関を取り巻く環境は年々厳しくなりますが、当院はこれからも職員一同努力し、常に患者様ファーストで急性期病院としての役割を果たしつつ、地域医療へ貢献し続けて参る所存ですので、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



事務部長 杉本雅宏

事務長から新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年7月に事務長を拝命いたしまして以降、皆様方には多々お世話になっており、心から御礼申し上げます。この半年間は、患者様と地域社会へ貢献する当院の使命を感じ取りつつ、また医療を取り巻く環境の厳しさも徐々に認識していく中で、如何なる寄与が出来るのか、試行錯誤する内に日々が瞬く間に過ぎましたが、本年も元気良く、一步一步前進、職員一丸となって患者様の御健康と地域医療の発展へ尽力して参る所存です。どうか変わませぬ御指導・御鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。 本年も目標は、「健康第一」です！！



事務長 青野大樹

先生
おたずねします

冠動脈CTについて

〈回答者〉
内科医長
岡田 泰斗

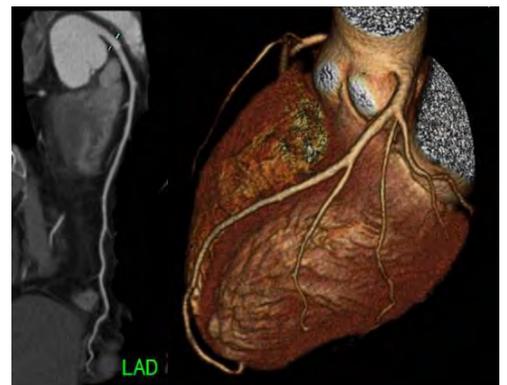
Q 最近、胸が痛くなることがあり、心臓が心配です。

A 心臓はポンプとして全身に血液を送る臓器ですが、心臓周囲にも血管が走行しており、心臓自身にも血液を供給しています。この血管を冠動脈といいます。冠動脈が、糖尿病や喫煙、高血圧、脂質異常症などにより狭くなり（動脈硬化）、うまく血液が流れない病態を虚血性心疾患といいます。虚血性心疾患は狭心症や心筋梗塞などの総称ですが、胸が痛くなったり、運動時に息切れがしたりします。

Q 冠動脈CTって何ですか？

A 虚血性心疾患を調べるための検査です。造影剤を腕などの静脈から注射し、冠動脈に造影剤が流れてきた時相に合わせて撮影をします。仰向けになって約10～15秒間息止めをして撮影します。

(続きは次ページへ)



Q 冠動脈CTのメリットとデメリットを教えてください。

A 冠動脈造影（心臓カテーテル検査）に比べ、低侵襲です。以前は入院にて冠動脈造影を行っていた患者様でも入院の必要がなく、短時間で検査可能です。一方で、不整脈などで脈が一定でない方や冠動脈に石灰化がある方（動脈硬化によりカルシウムが血管に沈着すること）、呼吸がうまく止められない方などの場合は血管がうまく描出できないことがあります。

Q ぜひ一度冠動脈CTを受けてみたいです。

A 先ほどもお話ししたとおり、冠動脈CTは造影剤を注射するため、造影剤アレルギーのある方（アレルギー体質の方）は、アレルギー反応により血圧が低下したり、呼吸困難になることがありますので注意が必要です。また、腎臓が悪い方も程度によっては、造影剤により悪化することがありますので、撮影できない可能性があります。

Q 副作用が心配です。

A 副作用が出やすいかどうかや検査に適しているかなどは、事前に問診を行っており、重篤な副作用はごくまれです。また、検査は医師が同伴で行い、副作用の出た方には点滴などの処置を行います。安心して検査を受けてください。

Q 冠動脈CTで狭窄が見つかったら？

A 冠動脈CTにより、冠動脈に有意な狭窄がみられなければ、虚血性心疾患の可能性はかなり低いと考えられます（冠攣縮性狭心症という特殊な狭心症はわかりません）。冠動脈CTにより狭窄が疑われれば、冠動脈造影を行い、経皮的冠動脈インターベンションなどの治療を行っていくこととなります。心電図や心エコーで虚血性心疾患が疑われた方やリスクファクターのある方は、気軽にご相談いただければと思います。

お問い合わせ先 内科受付 078-672-2619(外線)
8-63-22619(内線)



事務課
地域連携室

川上 陽平



昨年の5月より入職した川上と申します。主に相談業務を行っており、話しやすい相談員として患者様のお力になれるよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



ポケットカレンダーは暦年表示から年度表示に変更しております。来年度ポケットカレンダーは3月下旬頃に配布予定となっております。